

特別保護区昨年最後の活動日は寒いけど穏やかな日でした。厚く積もった落ち葉をかき集めて積み上げました。腐葉土ができればカブトムシもやって来るでしょう。園内の生き物たちは冬ごもりです。

特別保護区の12月



落ち葉かきメンバーズ



右の写真は落ち葉かき仕事中。全部かき出さず少し残して植物の布団にしました。集めたものは踏みつけておくと腐葉土になります。森の土は腐葉土が原料。1年間にできる土は1ミリ程度とされています。

木の実 草の実 小鳥のごちそう

特別保護区には実のなる植物がたくさんあります。鳥が実を食べ、種の入った糞をするとそこで植物が芽生えます。いろいろな鳥がやって来るとさまざまな植物が増えてきて、さらに多くの鳥がごちそう目当てにやって来るのです。



1: ナギカダ、2: ムサシアブミ、3: マンリョウ



4: ヤブミョウガ、5: タマサング、6: ヤブラン



7: ムクノキの実、8: ノシラン いろいろな木や草の実は熟すと色づいて小鳥たちに「食べ頃」を教えています。



残された空き巣

葉の落ちた木の枝に鳥の巣が残っていました。(上の写真) 巣の下にはマンリョウの茂み。小鳥の休む木の下にはこのような実のなる木や草がたくさん生えています。巣を作った小鳥も糞をしたはず？



↑鳥に食べられたクチナシの実。ミカンも中の美味しいところを。木の実は冬の間、小鳥たちの大切な食料になります。